

# 「これからの地域づくり」について考えてみよう！

8月に実施した「地域づくりアンケート」をもとに、京丹後市区長連絡協議会では、普段なかなか地域づくりに関わりの少ない若者・女性を交えた意見交換会を行いました。人口減少、高齢化など地域の課題について住民のみなさんで力を合わせて乗り越えていくにはどうすればいいか話し合った模様を、アンケート結果の一部とともにご紹介いたします。ぜひ、みなさまが「これからの地域づくり」を考えるきっかけにいただけたらうれしいです。なお、アンケート結果の全容は京丹後市のHPに掲載しております。ぜひご覧ください！



令和6年3月発行 京丹後市区長連絡協議会  
(事務局：京丹後市地域コミュニティ推進課)

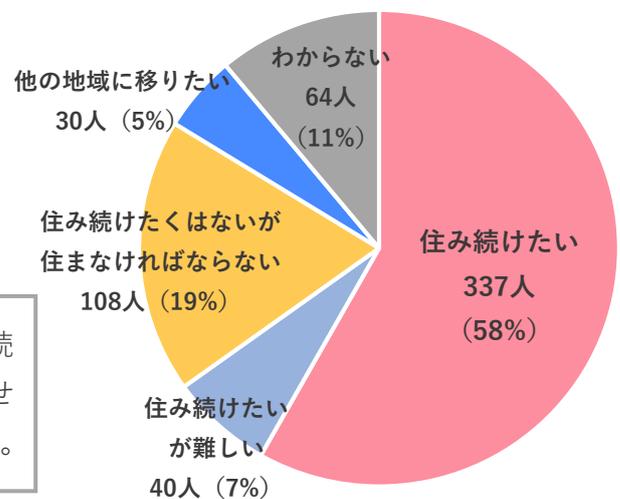
**Q** この地域に住み続けたいですか？

住み続けたい **65%**

住み続けたくない **24%**



性別差や年齢差はほとんどありませんでした。住み続けたい理由としては、「自然が豊か」「安心して暮らせる」「子育ては田舎でしたい」などがあげられました。



住み続けたくないと回答した24%の人へ質問！

**Q** 住み続けたくない理由は？

- 1位** 交通や買い物など生活が不便 (85票)
- 2位** 区の役員や消防団など地域の役が負担 (80票)
- 3位** 区費やお葬式のやり方など古い慣習がそのまま残っている (64票)
- 4位** 草刈りなどの共同の取り組みが負担 (56票)
- 5位** 仕事がない・通勤がしづらい (45票)
- 6位** 地域内に生きがいを持てる趣味や活動がない (25票)
- 7位** 地域の人との距離が近い (22票)

住み続けたくない人が24%も...  
何かできることはないかな？



「生活の不便さ」と同じくらい、「地域の役や慣習に関すること」が圧倒的に上位でした。どうしたら、「**住み続けたい**」と**思える地域**にすることができるのでしょうか？

「住み続けたくない理由」の2位と3位に注目！



変えた方がいいと思う地域の取組や慣習、しきたりがありますか？

ここを変えたい！



多くの人が、「**変えたい**」と思っている！



(一部抜粋)

- 区の役員は不必要なものもあると思う。人が減っていくことも踏まえて、本当に必要なものなのか見直し、効率化を図ることがいるとも思う。(30代男性)
- お寺の風習。家によって支払う金額が違うこと。(20代男性)
- 動ける人員の数に対して自治会の行事が多く、何重にも仕事が回ってきて負担。夕飯やお風呂の時間に度々寄り合いに駆り出されるので、夫婦のもう一方がワンオペになってしんどい。(30代女性)
- 隣組の集会在月に1度あり、集まる場所は各家庭で持ち回っている。毎回夜10時まで居座られるので迷惑。(40代男性)
- 形骸化している行事や仕事を削減しようと役員をしている時に試みてみたが、誰も責任を取れる人がいないため今まで通りでよいのではと言う空気を変えることが難しく、これから良くなる見込みも無さそうと残念に思った。(30代女性)

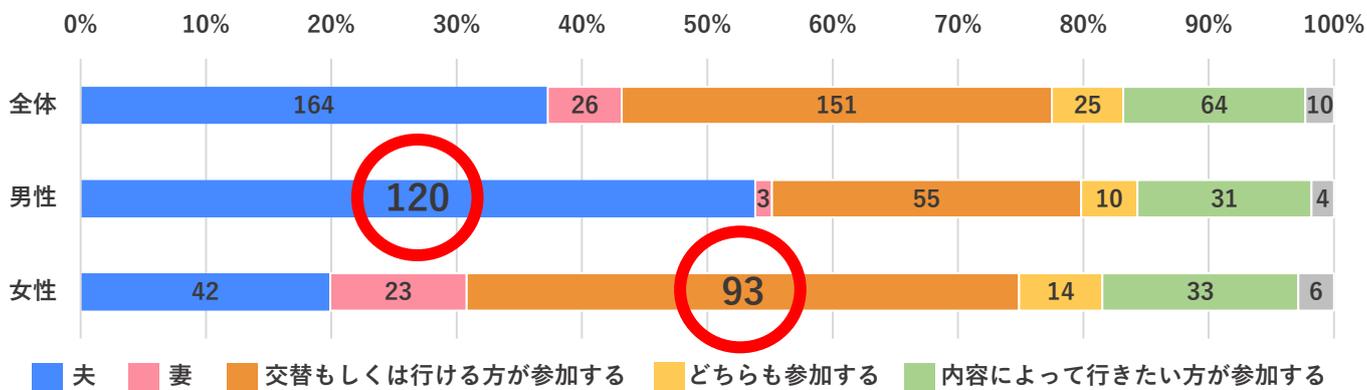


地域の役について、夫婦のどちらが参加しやすい？



男性は「**夫**」が参加する。

女性は「**どちらか行ける方**」が参加する。



男性は「夫が参加する」が過半数を超えているのに対し、女性は「交替もしくは行ける方が参加する」が約半数を占めています。**女性は、実は地域づくりに前向き!**「地域づくりは男性の仕事」という概念が、少しずつ変わってきているようです。

## 意見交換会の様子

京丹後市の代表区長 11 名と、若者・女性を中心とした市民 11 名で、アンケートの結果をもとに、「これからの地域づくり」について話し合いました。

## 意見交換会では、こんな声があがってきました！

### 01 地域づくり × 女性

- ▶ 女性の意見で、地域のイベントにキッチンカーが来るようになった！
- ▶ 女性の力は大きい。**いかに女性を巻き込むか…。**
- ▶ 地域で頑張っている女性もいるが、「女性のくせに出しゃばって」などの雰囲気も実際にはある。



### 02 地域づくり × 若者

- ▶ 若い世代の人でも地域づくりに参加したい人は多いが、意見を聞いてもらえないというケースが多い。
- ▶ **「若者は意見を出せる場、年配者は聞く場」**をつくってはどうか。

### 03 地域づくり × 防災

- ▶ 人数は減っているのに、消防団の体制は変わらない。変えるのにはエネルギーがいる。
- ▶ 人数が減り、消防団が出動できない地区もある。
- ▶ **地域の防災**について、改めて考える時かも。



### 04 住み続けたい地域とは？

- ▶ 子どもたちは丹後学を通して、丹後の魅力は学んでいる。大人になって地元に戻って来ないのは、子育て環境や仕事に不安があるから？
- ▶ 実際に**区費の見直し**をした地域も。住みやすい地域づくりにつながるのでは。

## みなさんの地域でも「地域の声」集めてみませんか？

### ■ 意見交換会終了後の感想

年上の方々とフランクに意見交換ができて良かった。(30代女性)



はじめて知ることも多く、地域に興味をもっていきたいと思いました。(30代女性)

区の事を真剣に考えておられる皆さまと話ができて、大変勉強になりました。(60代女性)



それぞれの地域で違いもあるので、地元でも意見交換会ができたと思う。(60代女性)

若者や女性の意見が、区役員に届くように区を運営したいと思う。色々な意見が聞けてよかった。(60代男性)



若者や女性と、楽しく意見交換ができました。新たな発見もあり、良かったです。(50代男性)



多くの参加者が「参加してよかった」という感想を持たれていました。区長さん方も、普段関わりの少ない若者・女性と話すことで、新たな発見もあったようです。「もっと話す機会がほしい！」という声もありました。

### ■ 「自分の地域でも開催したい」の声

区のことを変えるには、区の声拾い、区の中で話し合う必要がある…これは、多くの参加者からあがった声です。住みやすい地域づくりの第一歩として、まずは**地域の声**を拾ってみませんか？

今回はこんな手順で進めました！

まずは、アンケートの感想出し

次に、グループで感想共有

共通事項をグループのテーマに！

テーマをもとに、意見交換

